



学校だより 1月号



謹んで新年のお慶びを申し上げます

校長 三橋 淳子

令和2年が始まり、子ども達は元気に学校生活を再開しています。

1月7日の全校朝会では、箱根駅伝や昨年のラグビーワールドカップの様子から、チームが力を発揮するためには一人ひとりが練習を重ね、努力してきたことがベースにあると感じること、ぜひ都田西小学校の皆さんにも、しっかりと学びを重ねて力を伸ばして欲しい、という話をしました。

そして、昨年末、ある学年の先生方がその学年の子ども達の様子を振り返る中で、「挨拶が上手になった。」「行事などへ積極的に参加することができている。」「集合するときの姿勢がとてもよい。」など、子ども達の姿の良い点として挙げていたことを紹介しながら、どの学年の皆さんもしっかりと成長してきていること、新しい1年もできることを増やして欲しいということも伝えました。

子ども達の健やかな成長のために、年度末が近くこの時期、小学校の段階で何を大切に進めていくか、日々教育活動を進めながら現状についての振り返りを重ね、保護者や地域の皆様にご回答いただきました学校評価アンケートも参考にさせていただきながら、今後の本校の教育活動について検討を進めているところです。

9月号の学校だよりでも触れさせていただきましたが、本校の教職員が都田西小学校の子ども達のよさとして捉えているのは「素直さ」「やさしさ」「言われたことにしっかりと取り組むことができる」等です。そして、卒業時に身に付けてほしい力としては、「学力」そして「自主性」「判断力」「課題解決力」等であり、その基盤となるのが「自己肯定感」「自尊感情」等であると考えています。

これらをもとに、都田西小学校が教育課程全体を通じて育成を目指す「資質・能力」は、子ども達の『自分づくりに関する力』が中心になるとイメージしています。子ども達一人ひとりがしっかりと成長し、自立していくことができるよう、今後も教育活動を進めて参ります。

【獅子舞～佐江戸囃子連の皆様～】



今年度も年初めの全校朝会に続き、佐江戸囃子連の皆様、「獅子舞」をご披露いただきました。

朝会中は静かに座って話を聞いていた子ども達ですが、3頭の獅子が登場すると、初めて獅子舞と出会うお子さんの多い1年生を中心に歓声が上がりました。壇上でお囃子に合わせて「獅子舞」をご披露いただいた後、各教室を巡っていただき、子ども達は至近距離で伝統芸能を堪能することができました。

獅子頭を頭にかぶって舞う獅子舞は、幸せを招くとともに疫病退散や悪魔祓いとして古くから伝わっています。獅子に頭をかまれると、その年は無病息災で過ごせるという言い伝えもあります。

佐江戸囃子連の皆様は都田西小学校で年初めに獅子舞をご披露いただくのは、昨年一昨年に続き、3年目となります。本校6年生のお子さん2人も囃子連の一員として太鼓をたたき姿を披露しましたが、囃子連の皆様は日々練習を重ねられ、様々な場面でご披露されていると伺いました。伝統芸能を守るとともに、私たちにそれを伝えてくださっている佐江戸囃子連の皆様、敬意を表しますとともに心より感謝を申し上げます。ありがとうございました。

1月も第3週に入りますが、今後も、一人ひとりのお子さんが安心して安全に過ごし、確かな学びを通して成長していくことができるよう、丁寧に教育活動を進めて参ります。引き続き、保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力pを頂ければ幸いです。よろしくお願ひいたします。